



1 8月4日。ニューサンロードにぎわいをと、3年前に始まった《いすー11GP北海道千歳大会》。車輪付き事務用椅子で後ろ向きに進む耐久レースです。今年は過去最多の34チーム102人が集まりました。

2 8月14日。長都釜加納涼盆踊り大会。雨天につき北3ミセンでの開催となりましたが、日々忙しい農家の皆さんがホールで顔を合わせ、清流長都太鼓や生歌での盆踊りを楽しみました。

3 8月21日。駒里小中学校の向かい側の敷地で、駒里連合会による《駒里会館》の落成式が行われました。テープカットや子どもたちの踊りなどで、新しい地域拠点の誕生を祝いました。

4 8月25日。ちとせ環境と緑の財団主催により今年から新たに《オープンガーデン》を巡ることになった《ちとせ花めぐり見学会》。雨の中でも、参加した皆さんは、ガーデニング愛好家が丹精込めて育てた花と緑の庭園を明るい笑顔で眺めていました。

5 8月25日。北ガス文化ホール全館で《9館合同児童館まつり》が開催されました。

6 《時代村》をテーマにした今年、子どもたちが自分で制作した忍者の衣装を身にまとい、館内いたるところに設置されたコーナを駆け巡っていました。

編集後記

■長都、駒里などの農村地域の祭を取材した。若手が率先して司会担当や余興に参加し、行事を盛り上げていることが素敵に思えた。こうした地域では、行事の趣旨や大切さが明確に次の世代に伝えられているのではない。街中では担い手の高齢化や若者離れの話をよく聞く。広報の使命もそこにあると思う。

■今月の特集にちなんで、わが家の子どもたちに《千歳の魅力》をインタビューしてみました。私「千歳の魅力は何ですか？」息子「忘れたー！私」思い出してよ、息子「忘れたんだよ、そんな《女》のことはー」…え？女？齢4つの息子に一体何が。母は心配で、今夜も眠れそうにありません。あ

今月の表紙

明治29年、入植者によって富山県から伝わり今もなお受け継がれている《泉郷獅子舞》。中でも《天狗の舞》は、昭和53年に創作された地域独自の舞です。激しく勇ましい舞を若手・廣坂清貴さんに演じていただきました。



8月28日 泉郷神社の境内で撮影